

川崎地区

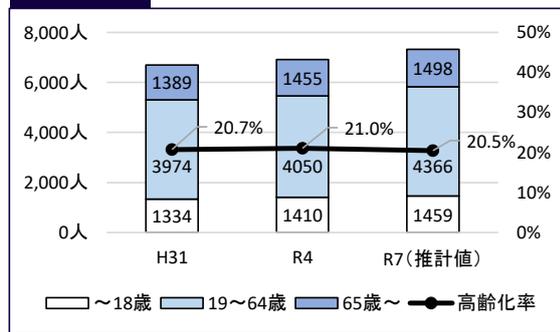
◆概要

	【位置図】	まち協名	川崎地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市川崎町2785-6	電話	0595-85-0101
		地区構成	田村町 長明寺町 太森町 川崎町 能褒野町		
		地域特性	<p>亀山市の北東部に位置し、市内22地区の中で2番目の人口を有し、広大な土地は自然豊かで、とりわけ安楽川・八島川・御弊川の三川がその特徴といえます。員弁と亀山を結ぶ巡見街道が通る要衝の地であり、多くの企業進出もあり工業と農業が調和したまちといえます。一方では、古墳群、県史跡指定の峯城城址及び、伝説上の英雄でもあるヤマトタケルの御陵である能褒野神社等、歴史的な史跡も存在します。</p>		
面積	1,152.4ha	ホームページ	http://www.za.ztv.ne.jp/kawasakimachiky/		
めざす姿	地域住民がふれあい、支え合いで「かわさき」に住んで良かったと思えるまち				
地域の誇り	子どもから高齢者まで、住民が誰でも参加できる事業が展開されている				

◆人口

	平成31年	令和4年	令和7年 (推計値)	増減	
総人口	6,697人	6,915人	7,323人	218人	
人口密度	5.81人/ha	6.00人/ha	6.35人/ha	0.19人/ha	
65歳以上	人口	1,389人	1,455人	1,498人	66人
	比率	20.7%	21.0%	20.5%	0.3%
18歳以下	人口	1,334人	1,410人	1,459人	76人
	比率	19.9%	20.4%	19.9%	0.5%
外国籍	人口	259人	269人	10人	
	比率	3.9%	3.9%	0.0%	

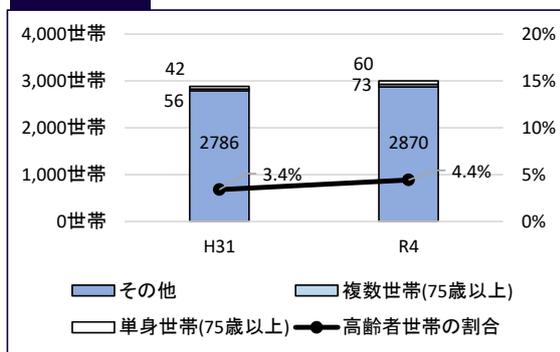
◆人口推移



◆世帯

	平成31年	令和4年	増減
総世帯	2,884世帯	3,003世帯	119世帯
単身世帯 (75歳以上)	56世帯	73世帯	17世帯
複数世帯 (75歳以上)	42世帯	60世帯	18世帯
高齢者世帯割合	3.4%	4.4%	1.0%

◆世帯推移



◆介護保険認定者

	平成31年	令和4年	増減
要支援1.2	67人	79人	12人
要介護1～5	177人	170人	-7人
合計	244人	249人	5人

◆地域組織

	平成31年	令和4年	増減
自治会	14	16	2
老人クラブ	5	4	-1
子ども会	10	10	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	9
福祉委員	28
介護保険施設・事業所	5
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	4
障がい福祉施設・事業所	2
児童福祉施設・事業所	1
病院・診療所	2
歯科	2
保育所	2
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	3
放課後子ども教室	1
子育て支援センター	1
学校(小・中・高)	2
乗り合いタクシー停留所	38

◆担当地域包括支援センター

亀山第1地域包括支援センター ぼたん

◆サロン活動

	平成31年	令和4年	増減
ふれあいいきいきサロン	11	10	-1
子育てサロン	1	0	-1
コミュニティサロン	1	1	0

◆福祉委員会活動

◆構成員 まち協役員 福祉委員

◆活動内容

【訪問活動】

一人暮らし高齢者、見守り等支援の必要な方を中心に地域で顔の見える時間を作り、仲間を作ることを目的に随時訪問活動を行っています。



かわさきふれあい文化祭



かわさきふれあいフェスタ

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・かわさきふれあい文化祭
- ・スポーツ大会
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・かわさきふれあいフェスタ
- ・門松作成
- ・イルミネーション飾り付け
- ・熟年の集い

◆生活支援コーディネーターからのコメント

川崎地区の人口は市内で2番目に多い6,915人で、そのうち21.0%にあたる1,455人が65歳以上です。地域内3,003世帯のうち、4.4%にあたる133世帯が75歳以上で構成されています。また、地域内人口の3.9%にあたる269人が外国籍です。地域の特色として、開発の影響により、大型スーパーや医療機関が立地し、鈴鹿へのアクセスも容易であることから、生活しやすい環境が整っています。地域活動としては、地域住民の作品展示や子どもが楽しめるブースが企画されるふれあい文化祭、地域の農産品・川崎小学校のふれあい農園で収穫した野菜を販売するふれあい収穫祭が開催されるなど、ミニ開発等により移住された若い世代と、昔からの世代とをつなぐ交流の機会の場づくりが進められています。また、自主防災の充実を目指しており、今年度は一つの地区をモデル地区として避難訓練を行い、危険個所の見直しや一人暮らし高齢者などの把握に努められました。さらに三重県消防操法大会で消防団川崎第4分団が優勝し全国大会に出場しており、いざというときに心強い存在も地域にあり、安心して生活できる基盤が整っています。今後は、防災などで培ったつながりを生かし、若い世代の協力も得ながら住民同士で支え合う意識の醸成を図ることが期待されます。